

J-Win九州支部設立 呼びかけ人メッセージ

敬称略、氏名50音順
※2018年5月22日現在

【筆頭呼びかけ人】

麻生 泰



麻生セメント株式会社 代表取締役会長
九州経済連合会 会長

女性の地位を向上し活用を進めることは、日本経済の発展にとり非常に重要な課題であり、多くの企業が実践し、かつ結果を出していくことが重要です。九州でも、企業や地域単位などで女性活躍推進のさまざまな取り組みが進められていますが、今後、東京や大阪で百数十社の企業と活動を展開しているJ-Winと連携することにより、それらの取り組みが一層広がっていくことが期待できます。また、女性たちにとり、J-Winの活動のなかで国内外の幅広いロールモデルと出会うことは、大きなプラスの刺激となると確信しています。

J-Win九州支部の始動を経済界として大いに歓迎し、九州における女性活躍推進がますます発展していくことを期待いたします。

一自治体一

小川 洋



福岡県知事

この社会が活力にあふれ、持続的に成長・発展していくためには、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、誰もがそれぞれの個性を十分に発揮し、いきいきと活躍できることが重要です。

我が国の人口構成は、50代から上の年代が女性が男性を上回りますが、福岡県では20代から上回っており、女性の活躍が本県発展の大きな鍵を握っているといえます。

そのため、福岡県では、経済団体等と連携し、女性の活躍を推進する企業・団体への支援や女性リーダーの育成など、さまざまな取組を進めてきています。

J-Win九州支部の設立により、九州において女性の活躍に向けた取組みがさらに加速し、企業におけるダイバーシティ・マネジメントが広がることを期待しています。

蒲島 郁夫



熊本県知事

熊本県では、女性の社会参画の加速化及び男女がともに個性と能力を十分に発揮できる社会づくりの推進を目指して、労働・経済分野における女性の社会参画加速化の施策を、本県における男女共同参画のリーディングプロジェクトと位置付け、あらゆる分野に波及していきたいと考えています。

このたびのJ-Win九州支部の設立により、九州内企業における女性のネットワークが新たに形成され、ダイバーシティ及びインクルージョンの取組みが更に進展することを期待します。

高島 宗一郎



福岡市長

福岡市は、人口の男女比が47:53と女性が多く、しかも30代から40代の「働き盛り」「子育て世代」と言われる女性の割合は、日本の都市の中でトップクラスです。九州各地から、進学や就職で集まる女性もたくさんいらっしゃる福岡市に「J-Win九州支部」が設立されることで、企業における女性のネットワークがさらに拡大し、ダイバーシティ・マネジメントが促進され、福岡・九州の女性活躍推進がスピードアップすることを期待しています。ぜひ多くの企業・団体に参加していただきたいと思えます。

広瀬 勝貞



大分県知事

多様性と活力に富んだ社会を実現するためには、性別に関係なく、誰もがその個性と能力を存分に発揮できることが重要です。

大分県では、職業生活における女性の活躍を推進するため、経済団体と連携した「女性が輝くおいた推進会議」において、各企業に「女性活躍推進宣言」を働きかけ、平成29年度までに125社が宣言を行い、女性の登用や働きやすい職場環境づくりを進めているところです。

今回の「J-Win九州支部」の設立により、九州において、企業・団体の枠を超えた女性のネットワークが広がるとともに、企業におけるダイバーシティ・マネジメントが推進されることを期待しています。

一企業・団体一

飯田 浩一



みずほ証券株式会社 取締役社長

J-Win九州支部の開設、おめでとうございます。
企業にとって、多様な人材が活躍できる強い組織を作るためにD&Iを推進していくことは重要な経営課題であり、このようなネットワークが全国に広がることは大変喜ばしいことです。弊社も設立当初からスポンサー企業に名を連ね、参加者も累計100名超となりましたが、それぞれが目覚ましい活躍を遂げていることから、この活動の重要性を実感しているところであります。これからも多くの女性が励まし合い、前向きなキャリア意識の醸成に取り組めるよう、J-Win活動のますますの発展を祈念しております。

植木 義晴



日本航空株式会社 代表取締役会長

このたび、九州支部設立の吉報を受け、J-Winの活動が更に勢いを増して拡がりつつあることを、大変喜ばしく思います。日本でも女性の社会進出が進み、仕事と家庭を両立して働くことが当たり前の世の中になってきましたが、まだまだ女性が働きにくさを感じているのも事実です。古い慣習や固定観念にとらわれず、自分らしく働ける社会の実現のため、また、これからキャリアを築こうとする全ての女性たちのため、このJ-Win活動を全国へどんどん進めてほしいと願っています。私もこの活動を応援しています。

岡 敬二



社会医療法人敬和会 理事長

労働生産性を向上させるためのイノベーションの創出と導入については、対話型コミュニケーション組織を土台とし、多様な人々が、主体性を持ちながら対等に関わり、一体的に働くことが可能なダイバーシティ&インクルージョンの概念が重要といわれています。これからは、女性はもちろんのこと、高齢者、障害者、外国人など多様な背景を持つ人材を雇用し、働き方改革により労働生産性を向上させ、企業に活力と成長をもたらすことが望まれます。今後、J-Win九州支部の開設に伴い、九州全体にダイバーシティ&インクルージョン活動が展開されることを期待しています。

笠井 聡



SOMPOホールディングス株式会社 グループCHRO常務執行役員

当グループは、「Diversity for Growth」をD&I推進のスローガンに掲げ、D&Iを成長に欠かせない重要な経営戦略として位置づけ、まずはその一歩として女性活躍推進に取り組んできました。女性活躍の先駆者である内永理事長が創設したJ-WinにNPO法人になる前の0期から参画し、多くを学び歩みをともにしてきました。これまで、東京・大阪で実績を残されてきたJ-Winが九州に展開され、「Women to the TOP!」を目指す女性が多く誕生し、D&Iのすそ野がさらに拡がることを期待しております。

倉富 純男



西日本鉄道株式会社 代表取締役社長

この度はJ-Win九州支部の設立、誠にありがとうございます。
これまで、1997年の次世代育成支援対策推進法施行等を機に、制度面では、女性の社会進出に対する支援は大きく進んでまいりました。しかしながら、実態としてはまだまだ課題は多いと考えております。
当社の場合、鉄道・バス事業の乗務職に占める女性の割合は4%程度にとどまっております。今後の労働人口の減少を見据えると、さらなる女性の活躍が不可欠です。同じ悩みを抱える業界は多いのではないのでしょうか。J-Win九州支部の活動により、女性がいきいきと働ける社会へ向けた、いっそうの機運醸成を期待いたします。

篠辺 修



ANAホールディングス株式会社 取締役副会長

2015年に「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を行ったANAグループでは、自らが積極的に声を出し、アクションを起こせる女性リーダーを目指し、毎年10名の社員がJ-Winに参加しております。参加メンバーの1年のJ-Win活動後における、キャリア意識とリーダーマインドの向上や成長には目を見張るものがあります。また、J-Winの活動における大きな魅力である100社を超える企業間ネットワークが、2017年度には関西へ、そして2018年度は九州にも拡がります。東京、関西以外の「地域特性」という新たな視点も加わり、益々、相互研鑽の場が増えるのではないのでしょうか。この新しいネットワークがJ-Winのさらなる活動の活発化につながることを期待しています。

島田 明



日本電信電話株式会社 常務取締役 総務部門長

J-Win九州支部ご開設、おめでとうございます。
NTTグループはダイバーシティ&インクルージョンを重要な経営戦略と位置づけ、多様な人材が活躍できる職場づくりに取り組んでいます。女性のキャリア開発も積極的に進めており、NTTグループからのJ-Win参加者も第1期から通算して62名となりました。卒業生の中には、グループ会社役員等の会社幹部として活躍している方々もいらっしゃいます。九州においても、女性自身のキャリア意識の醸成、ならびに企業のダイバーシティ推進に向け、J-Winが牽引役となられることを祈念しております。

田中 孝司



KDDI株式会社 代表取締役会長

J-Win九州支部の設立、誠にありがとうございます。
昨年の関西支部設立に続き、九州支部設立は、ダイバーシティの一層の加速が期待される、大変喜ばしい事とらえています。
KDDIは、J-Win設立時から参画し、これまでに約70名がJ-Win活動に参加、うち8割以上が管理職として現在活躍しています。変化の激しい社会環境の中で企業が生き残っていくためには、多様な価値感を持った社員の活躍が不可欠です。J-Win活動を通じて育成された女性リーダーたちによって、社会に大きな変革がもたらされることを期待しています。

堀 直樹



株式会社三菱UFJ銀行 取締役専務執行役員

J-Win九州支部開設、まことにおめでとうございます。
弊行では、従業員一人ひとりの「多様な個性」を尊重していくことが、やりがいや成長に繋がると考え、ダイバーシティ推進に取り組んで参りました。中でも、従業員の6割を占める女性が活躍し、男女共に切磋琢磨していくことが、持続的成長の礎であり、ダイバーシティ経営の大きな柱であると考えています。弊行は、J-Win創設時から参加させて頂き、多くの卒業生が「マネジメント層」として活躍しています。新たに展開される九州地区においても、J-Winが企業のダイバーシティ推進活動・女性の意識改革を力強くリードされることを、大いに期待しています。

山内 裕司



アフラック生命保険株式会社 取締役副会長

現在、企業経営者にとって、ダイバーシティの推進は、イノベーションの源泉として重要な経営戦略の一つとなっています。日本において、多様性確保の第一優先は人口の半分を占める女性です。J-Winは創立以来、日本有数の企業間ネットワークを構築し、女性リーダー輩出に向けた強力なパートナーとして比類なき存在となっています。九州地域の多くの企業の皆さまが、ダイバーシティ&インクルージョンの進展にむけて、J-Winのネットワークに参加されることにより、現参加企業、J-Winと共に日本における女性活躍推進の更なる加速化が出来ますことを期待しています。

横尾 博



イオン株式会社 取締役取締役会議長

環境変化のスピードが激しい時代の中で、競争に勝ち、成長し続けていくためには、D&I経営の実現は欠かせません。イオンは、国内においては北海道から九州・沖縄まで、多種多様な企業が集まるグループであり、すべての企業がD&I経営企業になることを目指しています。中でも九州・沖縄エリアにはD&Iを積極的に推進している企業が集まっており、これらの企業含め九州の企業の多くが、J-Winがもつ「人・企業のネットワーク」をフルに活用し、D&Iの加速・進化に向けて切磋琢磨して欲しいと思います。九州エリアの企業の皆さまとともに、D&Iが生む価値である「意思決定の場の多様性」を実現できることを期待しています。

吉村 次生



株式会社アステム 代表取締役社長

弊社はフォレストグループの中核企業として、医薬品・医療機器・診断薬など医療関連商品やシステム、サービス等を取り扱う医療総合商社です。医療や介護の現場はまさしく女性が輝き、躍動するJ-Winの世界です。このたび九州支部設立にあたり、ご縁をいただき、呼びかけ人と事務局をお引き受けすることになりました。
弊社自身はダイバーシティ&インクルージョン(多様性の受容)にはほど遠く、多くの課題を有しておりますが、本活動を通じて魂を入れていきたいと考えます。そして弊社の領域である九州における医療、介護の世界を一層ダイバーシティが進んだ世界にすべく、微力ながら取り組んでまいります。

渡邊 光一郎



第一生命ホールディングス株式会社 代表取締役会長

このたびは、「J-Win九州支部」の開設、誠にありがとうございます。
弊社はJ-Win設立から10年にわたり会員企業として参加させて頂いております。J-Winの活動を通じて会員企業の皆さまとネットワークを構築し、共に学びあい、共に切磋琢磨することで、弊社のダイバーシティ&インクルージョン推進のスピードは確実に加速しました。
変化し続けるビジネス環境、多様化するお客さまの価値観やグローバル化に対応するには企業のダイバーシティ&インクルージョン推進が不可欠であり、新たな九州地区でのJ-Winの活動が、日本の経済発展・ダイバーシティ社会の実現に寄与していくことを確信しています。是非多くの企業の皆さまにご参加いただきたいと思います。